

令和5年度 秋田県立衛生看護学院 助産科一般入学試験問題

基礎看護学・母性看護学

解答は解答用紙に記入すること。

問1 次の文の（ ）内に適切な語句または数字を書きなさい。

- 1 聴診法による血圧測定で、最低血圧はスワンの第（ ）点である。
- 2 マズロー (Maslow, A. H.) の人間の基本的欲求階層説で、レベルが最も高次なものは（ ）のニードである。
- 3 上部消化管出血が疑われる場合、便の色は（ ）となる。
- 4 心尖部で心音としてよく聴取できる領域は（ ）弁領域である。
- 5 腹膜刺激症状の1つで、回盲部を静かに圧迫し、急に手を離すと症状が著明になる所見を（ ）徴候という。
- 6 薬物は生体に入ると、吸収 →（ ）→ 代謝 → 排泄という薬物動態を経る。
- 7 ブレーデンスケールは褥瘡発生要因の（ ）項目を抽出し、点数化したものである。
- 8 採血中あるいは採血直後に一時的に血圧が低下し、気分不快、冷汗、失神などを生じるものを（ ）反応という。
- 9 母子保健法第16条に「市町村は、妊娠の届出をした者に対して、（ ）を交付しなければならない」と規定されている。
- 10 子宮頸がんの発生には（ ）ウイルスの感染が関与している。
- 11 受精後3日には、細胞数が12～15個の割球になり、細胞が密につまった（ ）とよばれる球状の胚を形成する。
- 12 流産を3回以上繰り返す場合を（ ）流産という。
- 13 妊婦健康診査で2週間に1回の受診が推奨されているのは、妊娠（ ～ ）週である。
- 14 超音波ドップラー法による胎児心音の聴取では、妊娠（ ）週でほぼ全例に聴取される。

- 15 正期産は、妊娠（ 週 日～ 週 日）までの分娩をいう。
- 16 胎児が縦位で児背が母体の左側に向かうものを（ ）という。
- 17 陣痛発来後、子宮口全開大までに破水するものを（ ）という。
- 18 産道は分娩の際に児が通過する管腔であり、骨産道と（ ）からなる。
- 19 児頭の先進部が陣痛間欠時にも陰裂に現れたままの状態を（ ）という。
- 20 分娩時、子宮頸管の成熟度を評価するには（ ）スコアが用いられる。
- 21 生後の循環適応の変化では、肺動脈が拡張し、（ ）・動脈管・静脈管・臍帯動脈の4つが閉鎖する。
- 22 乳腺の腺房上皮に作用して、ラクトース（乳糖）の産生を促すホルモンは（ ）である。
- 23 ルービン (Rubin, R) は産褥早期の母親となるプロセスを、受容期、保持期、（ ）という3つの段階で説明している。
- 24 産褥血栓症の一つである深部静脈血栓塞栓症の症状として（ ）徴候がみられる。
- 25 極低出生体重児とは、出生体重が（ ）g未満の児をいう。
- 26 新生児のビタミンK欠乏による消化管出血を（ ）という。

問2 次のうち誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 滅菌バッグから鑷子を取り出す場合、鑷子の先端は閉じたまま引き出す。
- 2 滅菌物は受け取って処置をする側の鑷子が上になるように取り扱う。
- 3 滅菌物の受け渡しは清潔区域内で行う。
- 4 滅菌物の包装がぬれている場合は汚染されたものとみなす。
- 5 滅菌有効期限を事前に確認する。

問3 胸部の聴診について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 第2肋間胸骨縁の周囲で気管音を聞く。
- 2 気管支肺胞音は吸気と呼気の切れ目がはっきりとしない。
- 3 1か所につき、必ず1呼吸以上聴取する。
- 4 正常な気管音の吸気と呼気の長さの比は約3：2である。
- 5 気道が狭窄されている場合は水泡音が聴取される。

問4 ノンレム睡眠の特徴について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 覚醒時と似た脳波である。
- 2 身体中の筋肉は弛緩する。
- 3 眼球の急速な回転運動がある。
- 4 大脳皮質の活動性が低下する。
- 5 成長ホルモンが分泌される。

問5 左上肢に点滴静脈内注射を行っている患者の寝衣交換で正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 左上肢から寝衣交換を行う。
- 2 点滴のクレンメは閉じて、一時的に滴下を止めて通す。
- 3 輸液ボトルは点滴筒を逆さにしてルートをまとめて通す。
- 4 袖口から輸液ボトルを入れて着せる。
- 5 点滴ボトルは患者の身体より低くならないよう気をつける。

問6 酸素吸入療法について誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 中央配管の酸素のアウトレットは緑である。
- 2 簡易酸素マスクで吸入酸素濃度の上昇が期待できるのは、2L/分からである。
- 3 慢性呼吸不全状態を確認した場合、高濃度の酸素投与が適応となる。
- 4 加湿する場合、滅菌水を使用する。
- 5 ベンチュリーマスクは患者の換気量に左右されず一定濃度の酸素供給ができる。

問7 次のうち正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 合計特殊出生率とは、15歳から50歳までの女子の年齢別出生率を合計したものである。
- 2 乳児死亡は生後28日未満の死亡をいう。
- 3 死産は自然死産のことであり、人工的処置を加えた人工死産は含まない。
- 4 死産率は出産（出生＋死産）1,000に対する死産数であらわす。
- 5 周産期死亡は妊娠満22週以後の死産と早期新生児死亡を合わせたものをいう。

問8 日本産婦人科学会の思春期の定義に記されている内容で誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 第1次性徴出現
- 2 乳房発育
- 3 恥毛発生
- 4 初経
- 5 アイデンティティの形成

問9 妊娠による子宮の変化について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 妊娠末期の子宮重量は500g前後である。
- 2 子宮腔部は妊娠末期にリビド着色とよばれる暗紫色となる。
- 3 子宮峡部は妊娠末期には7～10cmに伸展する。
- 4 子宮体は妊娠により軟化する。
- 5 収縮輪は、組織学的内子宮口に一致する部位に生じる。

問10 妊娠中の栄養について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 妊娠後期の1日当たりの付加エネルギー量は250kcal/日である。
- 2 葉酸は妊娠初期までの摂取が重要なため、妊娠中期以降は付加の必要がない。
- 3 カルシウムの付加量は設けられていない。
- 4 マグネシウムを含む食品を控える。
- 5 ビタミンAの過剰摂取は胎児に先天異常が増加することから、サプリメントなどの大量服用を避ける。

問11 次のうち正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 分娩時の娩出力は陣痛間欠と陣痛発作からなる。
- 2 陣痛とは不随意に反復しておこる子宮筋の収縮である。
- 3 1時間に4回以上の規則的な子宮収縮の開始をもって分娩開始とする。
- 4 陣痛発作は進行期と退行期の2期に分類される。
- 5 胎児娩出直前に陣痛に伴い不随意に腹圧が加わることを共圧陣痛という。

問12 褥婦への対応について誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- | | | |
|---------------------------------|----|-------------|
| 1 恥骨結合離開 | —— | 骨盤ベルトを使用する。 |
| 2 後陣痛 | —— | 授乳を一時中止する。 |
| 3 外陰血腫 | —— | 局所の温罨法を行う。 |
| 4 脱肛 | —— | 還納を試みる。 |
| 5 ヒトT細胞白血病ウイルス
<HTLV-1> 抗体陽性 | —— | 完全人工栄養を勧める。 |

問13 産褥の経過で誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 分娩12時間後には一時的に子宮は増大する。
- 2 産褥5日の子宮底の高さは臍と恥骨結合上縁のほぼ中央である。
- 3 産褥4週頃には子宮は腹壁から触知されなくなる。
- 4 産褥3か月で授乳婦の90%に月経の発来がみられる。
- 5 産褥2～3週で循環血液量は非妊時の値になる。

問14 母乳育児で児の効果的な吸着の状態を2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 おちよぼ口になっている。
- 2 口唇は外側にめくれるようになっている。
- 3 舌を鳴らすような音が聞こえる。
- 4 児の下顎が乳房に触れている。
- 5 授乳直後の乳頭が平らになっている。

問15 新生児の体温調節の特徴で誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 熱産生は主として褐色脂肪組織で行う。
- 2 成人に比べて体重あたりの表面積が小さい。
- 3 環境温度が高い時や低い時は酸素消費量が増加する。
- 4 処置の際に手をあたたためて行うことは蒸散による熱喪失を予防する。
- 5 低温度環境では、血管収縮からくる代謝性アシドーシスが生じる。

問16 在胎39週5日、分娩第2期遷延のため吸引分娩を実施。児の出生時体重は2,980 g。日齢2日、児の体重2,870 g、呼吸数48/分、心拍数120/分、体温37.2℃。出生時より左頭頂部に骨縫合を超えない腫瘍あり、2日目に肉眼的黄疸が出現した。栄養は自律授乳で9回/日、嘔気、嘔吐はない。

日齢2日の新生児のアセスメントで正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 バイタルサインは正常である。
- 2 早発黄疸がみられている。
- 3 左頭頂部の腫瘍は産瘤である。
- 4 授乳回数は適切である。
- 5 体重減少は生理的範囲を逸脱している。

問17 妊娠及び分娩の経過と児への影響で正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- | | | |
|----------------------|----|-----------|
| 1 早産 | —— | 胎便吸引症候群 |
| 2 過期産 | —— | 呼吸窮迫症候群 |
| 3 帝王切開 | —— | 新生児一過性多呼吸 |
| 4 妊娠高血圧症候群 | —— | 胎児発育不全 |
| 5 B群溶血性レンサ球菌<GBS>の保菌 | —— | 新生児結膜炎 |